

## ご近所の力



**Q** 近所に住む一人暮らしの老人のお宅に、見知らぬセールスマンが出入りしているのを見ました。なにやら布団のようなものを運んでいたようですが、何気なく本人から「断ったのに無理に置いて行かれた」と聞きました。どのようなアドバイスをしたらよいでしょうか。

**A** まず、本人に今回の契約について少しでも納得できなければ、すぐ消費生活センターに相談するよう伝えてください。トラブルの解決は早いほうがスムーズにいくことが多いからです。もし本人が迷っていたら、了解を得て代わりに相談してください。高齢者に多い次々販売などのトラブルから守るためにも「気付き」が重要です。一昨年マスコミを販賣した埼玉県の認知症姉妹リフォーム工事事件も近所の人からの相談がきっかけだったそうです。

人は年をとると考える力も体も弱くなりがちです。そこに悪質業者が付け込む被害が全国で多発しています。ご近所の見守りと気付き、民生委員、ヘルパーなどが連携して高齢者の被害を防ぐことが望めます。なお、昨年4月より高齢者とその家族のための総合相談窓口として「**地域包括支援センター**」(☎24-1294)が市役所高齢者福祉課内に創設されました。介護、医療、財産管理を含め高齢者を取り巻くさまざまな問題に公正中立の立場で相談に乗ってくれます。また、認知症の症状が見られる場合には、本人の身辺補助として**地域福祉権利擁護事業**(社会福祉協議会 ☎27-7755)の制度や、**成年後見制度**(物事を判断する能力の不足の程度によって、保護者を定めて本人を保護する制度)がありますので活用を考えましょう。

※くわしくは消費生活センター(☎23-1161)へ。

## 食にまつわる 省エネ



私たちの生活に欠かすことのできない「食」。そのさまざまな場面でエネルギーが使われているのを知っていますか?どんな場面でエネルギーが使われているのを知り、省エネに取り組んでみてはいかがでしょうか。例えば、次のようなちょっとした工夫が立派な省エネにつながります。

### ○ばら売り、量り売りを利用する

結局捨ててしまうことの多い包装材やレジ袋、飲料容器を作るのにもエネルギーが使われています。ばら売りや量り売りを積極的に利用し、マイバッグも活用しましょう。

### ○食材の産地にも気を付けてみる

同じ食材でも、産地から食卓までの距離が遠くなれば、それだけ輸送や保冷に使われるエネルギーが増すこととなります。産地に近い食材を使う方が省エネです。食材の産地にも気を配ってみましょう。

### ○食材は使い切るよう心掛ける

生ごみの1/4は、食べ残しや使われなまま捨てられた食材です。生ごみを処理する過程でもエネルギーが使われます。適量を作って食べ残しを少なくする、無駄に廃棄しないよう冷蔵庫の在庫メモを作るなど、食材を使い切る工夫をしてみましょう。

※くわしくは環境計画課(☎20-1533)へ。

消防・防災・防犯 **知っ得**  
暮らしの安全 **情報**

## 税金還付詐欺、 融資保証金詐欺が急増中

税金が  
戻ります

低金利で  
融資を・・・



税金還付詐欺とは、国税局や税務署員を装い、電話や封書により「税金の還付が発生した」などお金が返還されるかのように偽ります。そして現金自動預け払い機(ATM)のあるコンビニなどへ行き、指示通り操作するよう誘導しお金を振り込ませる手口です。

融資保証金詐欺とは、同様に電話や封書で「低金利で融資」などと勧誘し、事前に保証金や手数料を入金す

れば融資すると持ちかけ、お金を振り込ませる手口です。

これらを含め、振り込め詐欺の全国の被害額は3年連続で200億円を超えています。被害に遭わないためにもATMでの操作や、保証金などの名目で支払いを求めるものは詐欺であることを疑い、1人で決断し行動せず家族や警察と相談することが大切です。

※くわしくは交通防犯課(☎20-1527)へ。